
平成 2 4 年度
熊本県松橋収蔵庫活動報告

熊 本 県

目 次

1 展示活動

(1) 熊本県松橋収蔵庫企画展示	4
(2) 館外（移動）展示	1 8
(3) 共催展示	2 1
(4) その他の展示	2 2

2 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！	2 5
(2) 熊本を知る講座	2 8
(3) 「くまもと自然と文化の学芸員」養成講座	3 1
(4) キッズミュージアム	3 4
(5) バックヤードツアー	3 4
(6) 移動体験教室及び講師派遣	3 5
(7) 博物館実習、職場体験等	3 6
(8) ミュージアムパートナー制度	3 7
(9) 松橋収蔵庫ミュージアムパートナーズクラブ	3 7

3 資料収集整理活動

(1) 各分野の資料収集、整理状況	4 0
(2) 資料貸出等	4 5

4 情報発信

(1) 熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～	4 6
(2) 企画展示図録	4 7
(3) 収蔵資料目録	4 7

5 資料

(1) 平成24年度職員	4 8
(2) 熊本県松橋収蔵庫平面図	4 9
(3) 熊本県松橋収蔵庫資料利用要項	5 0
(4) 熊本県松橋収蔵庫団体利用要項	5 7
(5) 学校・社会教育団体等への講師派遣要項	6 0

1 展示活動

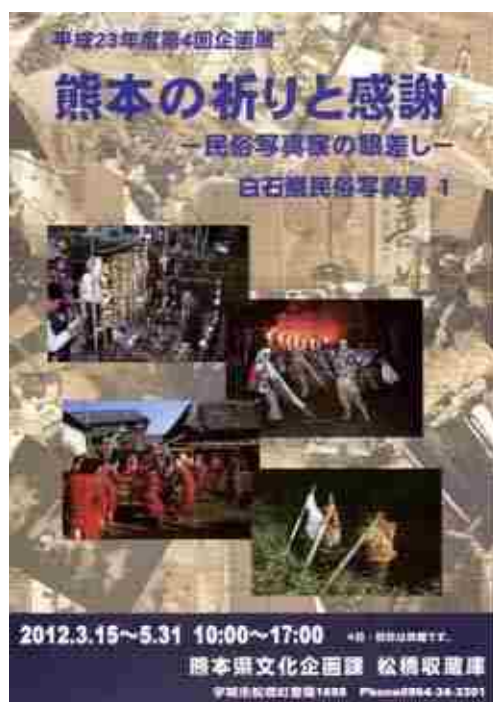
(1) 熊本県松橋収蔵庫企画展示

① 熊本の祈りと感謝 ― 民俗写真家の眼差し ―

白石巖民俗写真展 I （平成 23 年度第 4 回企画展示）

- ・ 開催期間 平成 24 年 3 月 15 日～5 月 31 日
- ・ 観覧者数 372 人
- ・ 展示の趣旨

白石巖氏は、熊本で祭りや行事、人々の暮らしぶりなどの民俗写真を長年にわたり撮影された。平成 7 年に亡くなられた後、遺族の方から、白石氏が撮影された膨大な写真やフィルムと民俗調査データが県に寄贈された。白石氏の写真資料は、観光客が訪れるような有名な祭りだけではなく、地域の人々がひっそりで行なってきた各地の民俗行事を丹念に撮影していること、更に、写真だけではなく、撮影した際の民俗調査データが残されていることなど、第一級の民俗写真資料として高く評価されている。



県では、寄贈を受けて以来、写真の整理、デジタル化、資料登録を行なってきた。今回の企画展は白石氏が撮影した民俗写真のうちカラー写真についてのデジタル化、資料登録、目録作成が完了したことを機に開催した。

私たちは正月、盆、節句などの年中行事、人が生まれてから死ぬまでの人生の節目、神社の祭礼など、さまざまな機会に豊作、豊漁や健康などへの祈りや感謝を表す祭りや儀礼を行ってきた。今回の企画展では、そのような祈りと感謝を表す写真を選び展示している。白石氏の写真を通して、熊本に暮らしてきた人々の祈りや感謝の気持ちを表現することを目指した。



< 展示写真 >

B 1 サイズ

資料名	撮影地	撮影年	記録メディア
二瀬本神楽	上益城郡山都町柏字二瀬本	1973	35mmカラーポジ
このみや踊り	菊池市玉祥寺	1974	35mmカラーポジ
なれなれなすび	山鹿市長坂	1977	35mmカラーポジ
古代楽	玉名郡南関町小原	1974	35mmカラーポジ
赤仁田の盆踊り	阿蘇市波野赤仁田	1975	35mmカラーポジ

A 1 サイズ

資料名	撮影地	撮影年	記録メディア
良町の三夜さん	熊本市南区良町	1977	35mmカラーポジ
八代神社田植祭	八代市妙見町	1971	35mmカラーポジ
スッキョン	八代郡氷川町宮原	1983	35mmカラーポジ
伊倉北・南八幡宮の例祭	玉名市伊倉北方	1971	35mmカラーポジ
上梅木の水神祭り	上益城郡御船町上梅木	1977	35mmカラーポジ
四十八夜大法要祭	天草市栖本町湯船原	1984	35mmカラーポジ
端午の節句の地搦き	熊本市南区白石町	1990	35mmカラーポジ
野原八幡宮の御田植祭	荒尾市野原	1976	35mmカラーポジ
江古尾のお座敷田植え	阿蘇郡小国町上田字江古尾	1973	35mmカラーポジ
一町田の虫追い	天草市河浦町一町田	1972	35mmカラーポジ
山鹿の精霊流し	山鹿市	不明	35mmカラーポジ
赤仁田のおとりこし	阿蘇市波野赤仁田	1976	35mmカラーポジ
芦原の地藏祭り	熊本市北区植木町田底字芦原	1977	35mmカラーポジ
白木の七夕綱	葦北郡芦北町白木	1972	35mmカラーポジ
下平の七夕棚	天草市深水町下平	1982	35mmカラーポジ
大浦の盆の仏壇	天草市有明町大浦	1982	35mmカラーポジ
八朔のナスビウマ	熊本市西区池上町	1981	35mmカラーポジ
十五夜綱引きの大草履	人吉市井ノ口町	1979	35mmカラーポジ
白梅天満宮の風神大根	熊本市中央区細工町	1982	35mmカラーポジ
亥の子搦き	熊本市北区清水町麻生田	1979	35mmカラーポジ
高橋えびす祭	熊本市西区高橋町	1993	35mmカラーポジ
七五三	熊本市西区島崎二丁目	1965	35mmカラーポジ
杉水の節頭渡し	菊池郡大津町杉水	1983	35mmカラーポジ
早鷹天神	菊池郡大津町引水	1984	35mmカラーポジ
赤仁田の大黒さん迎え	阿蘇市波野赤仁田	1975	35mmカラーポジ
二の丸の神さん送り	熊本市南区海路口町	1982	35mmカラーポジ
岩本の巻天神	菊池市旭志弁利	1985	35mmカラーポジ
山王神社の甘酒祭り	宇土市花園町	不明	35mmカラーポジ

A 3 サイズ

	資料名	撮影地	撮影年	記録メディア
正月	年徳棚	菊池市旭志麓字湯舟	1989	35mmカラーボジ
	蔵飾り	菊池市旭志弁利字姫井	不明	35mmカラーボジ
	サワギ	天草市本町字平床	1975	35mmカラーボジ
	臼飾り	上天草市松島町教良木	1986	35mmカラーボジ
	オニビ	宇城市不知火町松合	1983	35mmカラーボジ
	鬼の骨	天草市五和町鬼池字宮津	1977	35mmカラーボジ
	ドンドヤ	熊本市中央区二の丸	1966	35mmカラーボジ
	モグラウチ	熊本市西区池上町字岩本	1983	35mmカラーボジ
	シュンナメジョ	球磨郡あさぎり町上	1976	35mmカラーボジ
	ハナモチ	菊池郡大津町矢護川字新開	1985	35mmカラーボジ
	ハラメンボウ	天草市本町字平床	1979	35mmカラーボジ
	ハナマンジュウ	天草市久玉町	1977	35mmカラーボジ
	人形回し	八代市泉町仁田尾字小原	1973	35mmカラーボジ
	十五夜綱引き	菊池郡大津町大津	1984	35mmカラーボジ
カワマツリ	分田	山鹿市鹿本町分田	1973	35mmカラーボジ
	今	菊池市今	不明	35mmカラーボジ
	鹿帰瀬	熊本市東区鹿帰瀬町	1981	35mmカラーボジ
	山尻	熊本市北区弓削町字山尻	1976	35mmカラーボジ
	永	熊本市南区城南町永	1977	35mmカラーボジ
	陣	上益城郡御船町陣	1980	35mmカラーボジ
	西村	上益城郡嘉島町上六嘉字西村	1983	35mmカラーボジ
	辺場	上益城郡甲佐町辺場	1977	35mmカラーボジ
	吉田	上益城郡甲佐町吉田	1977	35mmカラーボジ
	小川	宇城市小川町本村	1979	35mmカラーボジ
	大野	宇城市小川町北海東字大野	1977	35mmカラーボジ
	富岡	天草市苓北町富岡	1976	35mmカラーボジ
秋祭り	野原八幡宮例大祭	荒尾市野原	1979	35mmカラーボジ
	藤崎宮八幡宮例大祭	熊本市中央区	1964	35mmカラーボジ
	藤崎宮八幡宮例大祭	熊本市中央区 辛島公園前	1964	35mmカラーボジ
	河尻神社の例大祭	熊本市南区八幡	1982	35mmカラーボジ
	六殿宮の大祭	熊本市南区富合町木原	1982	35mmカラーボジ
	おほし祭り	菊池郡菊陽町戸次	1978	35mmカラーボジ
	八代神社秋季例大祭	八代市宮地町	1965	35mmカラーボジ
	八代神社秋季例大祭	八代市	不明	35mmカラーボジ
	日奈久温泉神社秋季例大祭	八代市日奈久下西町	1969	35mmカラーボジ
	青井阿蘇神社おくんち	人吉市中青井町	1971	35mmカラーボジ

資料名		撮影地	撮影年	記録メディア
	大矢野上八幡宮例大祭	上天草市大矢野町上	1982	35mmカラーポジ
	産島八幡宮例祭	天草市河浦町宮野河内	1971	35mmカラーポジ
山の神	府本	荒尾市府本	不明	35mmモノクロネガ
	古城	菊池郡大津町古城	不明	35mmモノクロネガ
	羽仁田 1	八代市坂本町小川内馬場	1982	35mmカラーポジ
	羽仁田 2	八代市坂本町小川内馬場	1982	35mmカラーポジ
	山口	八代市坂本町小川内山口	1982	35mmカラーポジ
	薮 1 (ヤコダナ)	球磨郡球磨村神瀬字薮	1982	35mmカラーポジ
	薮 2 (ヤコダナ)	球磨郡球磨村神瀬字薮	1982	35mmカラーポジ
	大岩 3	球磨郡球磨村神瀬字大岩	1977	35mmカラーポジ
	遠原	球磨郡球磨村一勝地字遠原	不明	35mmカラーポジ
	五本松	球磨郡水上村岩野字五本松	1977	35mmカラーポジ
	楠甫	天草市有明町楠甫	不明	35mmモノクロネガ
	福岡	天草市本町福岡	不明	35mmモノクロネガ

・担当 國本、迫田



② くまもとの外来生物

- ・ **開催期間** 平成24年6月15日（金）～
8月31日（金）
- ・ **観覧者数** 1231人
- ・ **展示の要旨**

交通手段の発達により、多量の物資や人の輸送が可能になった。それに伴い、本来日本にいなかった生物が物や人と共に侵入し、身近な生物として見られるようになってきている。これらの生物は外来生物、外来種、移入種、帰化種などと呼ばれ、生物相の変化をもたらすだけではなく、人の健康や経済活動など人間生活にも大きな影響をもたらしており、現在、多くの人たちが外来生物の影響について調査・研究し、対策が取られている。

本展示では、熊本県内において確認されている外来生物を紹介し、外来生物による自然環境の変化を伝え、これからの私たちと自然環境との関わり方について考え、熊本の自然とは何かを考えていくきっかけとすることをねらいとした。

本展示では、以下の3つの定義を満たす生物を「外来生物」として取り上げた。

- ①主に明治時代以降に侵入し、本来の生育・生息域ではない場所に分布している。
- ②その場所への侵入は、その生物自身の能力によってではなく、人間の手によって行われた。
- ③侵入した土地に定着し、繁殖している。

・ 展示構成と展示資料

1 外来生物って何？

外来生物の問題を考える上で基本的な知識となる、生物の分布、外来生物の定義、外来生物の影響などについて資料や図版を用いて解説した。

<展示資料>

生物の分布（ベンガルヤマネコなど4種）、外来生物の例（オオキンケイギクなど4種）、外来生物ではない生物（キビタキなど5種）

2 くまもとの外来生物

現在、熊本県ではたくさんの外来生物が確認されている。身近な環境で見られる外来生物の例



を、標本とともに紹介した。

また、宇土半島に侵入し、現在積極的に対策がとられているタイワンリスや、平成24年に確認されたアライグマに焦点を当て、その駆除の様子などを詳しく紹介した。

<展示資料>

外来生物：植物（コンテリクラマゴケなど）28種、哺乳類（チョウセンイタチなど）3種、鳥類（コジュケイなど）4種、両生・爬虫類（ウシガエルなど）2種、魚類（タイリクバラタナゴなど）6種、その他無脊椎動物（アメリカザリガニなど）13種。国内移入種（ハスなど）6種。史前帰化の動植物（イヌタデなど）17種。在来生物（ニホンリスなど）10種。頭骨標本（タイワンリスなど）3種。タイワンリスの巣。タイワンリスの皮剥痕。



3 外来生物とわたしたち

外来生物の問題は、熊本県や日本だけのことでなく、世界全体で問題になっていることや、人間と他の生物との関わり方を紹介。

<展示資料>

日本原産の外来生物（イタドリなど）6種。栽培植物（ヒエなど）16種。

・関連行事

1 記念講演「くまもとの外来植物」

期日 平成24年7月7日（土）

場所 松橋収蔵庫

講師 佐藤千芳氏（熊本記念植物採集会）

参加者数 48人



2 フィールドミュージアムへ飛びだそう！「外来植物を観察しよう」

（25ページ参照）

3 フィールドミュージアムへ飛びだそう！「水辺の外来植物を観察しよう」

（26ページ参照）

4 高校生シンポジウム「くまもとの外来生物について考える」

期日 平成24年7月28日（土）

場所 松橋収蔵庫

講師 安田雅俊氏（森林総合研究所九州支所主任研究員）

参加者数：高校生26人 教員13人



担当 天野、前田



③ ちょっと昔のくらし探検Ⅴ

- ・開催期間 平成24年9月15日～
12月15日
- ・後援 熊本県教育委員会
宇城市教育委員会
- ・観覧者数 1527人
- ・展示趣旨

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。昭和30年代後半から40年代まで普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単位に対応した道具を中心に紹介し、暮らしの変化を実感することを目指した。

・展示構成と主な展示資料

1 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも竈^{かまど}に火を熾^{おこ}し、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

<主な展示資料>

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱 醤油瓶

2 より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常炎を見ることは稀であろう。そうでなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

<主な展示資料>

燭台、行灯、提灯、ランプ、電灯、火鉢、炬燵、湯たんぽ、電気行火



3 洗濯と裁縫

今では水道の蛇口を開けば水が出るというのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、^{たらい}盥で洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

＜主な展示資料＞

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏ミシン、^く紬け台、仕事着、ドンザ



4 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫が重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介する。

＜主な展示資料＞

鍬、^{からすき}犁、田下駄、田植綱、ガンズメ、千歯扱き、足踏み脱穀機、箕、唐箕



5 山で働く

戦後の拡大造林期を経て、山は景観も代わり、仕事内容も機械の導入で大きく変わった。人の力で木を切り、板を切り出していた時代の山の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

山鋸、大鋸、切り斧、ハツリ斧、造林鎌、皮剥、^{かん}鳶口、鑢、万力爪



6 海・川で働く

漁業も機械化、大型化で大きく変わった。沿岸漁業は衰退し、獲る漁業から栽培する漁業への転換が図られている。以前の海漁、川漁の道具を紹介する。

＜主な展示資料＞

餌木、擬餌鉤、蛸壺、魚伏籠、魚籠、鰻釜、鰻搔、鋤簾、やす



・展示資料数 125点

・特記事項

学校団体見学 14校19回

（見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤棒による水運び、洗濯板による洗濯、^{ひのし}熨斗による



アイロンがけ、きな粉作りなどを実施)

・担当 國本、迫田



④ 肥後辛島家のひとびと

・開催期間 平成25年1月7日～3月9日

・協力（資料提供）

岩成邦忠氏、東坂祐次郎氏、熊本市歴史文書資料室、公益財団法人永青文庫、富重写真所

・観覧者数 801人

・展示趣旨

肥後辛島家は、江戸時代から明治・大正時代にかけて、時習館教員や熊本市長等を輩出しており、現在も熊本市辛島町・辛島公園にその名が残っている。

松橋収蔵庫が所蔵している辛島家伝来の資料群から、歴代当主の著作物、熊本市政関係資料、辛島家と交流があった人物ゆかりの資料を展示し、肥後辛島家の歴代当主とその業績を広く県民に紹介する。

・展示資料数 67点

・展示構成と主な展示資料

1 肥後辛島家とは

家系図や先祖附等をもとに、肥後辛島家の出自や肥後国移住の経緯を解説し、展示の導入とした。

<主な展示資料>

辛島氏家系、先祖附并御奉公附、辛島家累代霊位

2 辛島家のひとびと（近世）

第4代・道珠から第10代・多喜次まで、熊本藩学問師役や時習館教員を務めた江戸時代の歴代当主の略歴やエピソードを解説し、関連資料を展示した。

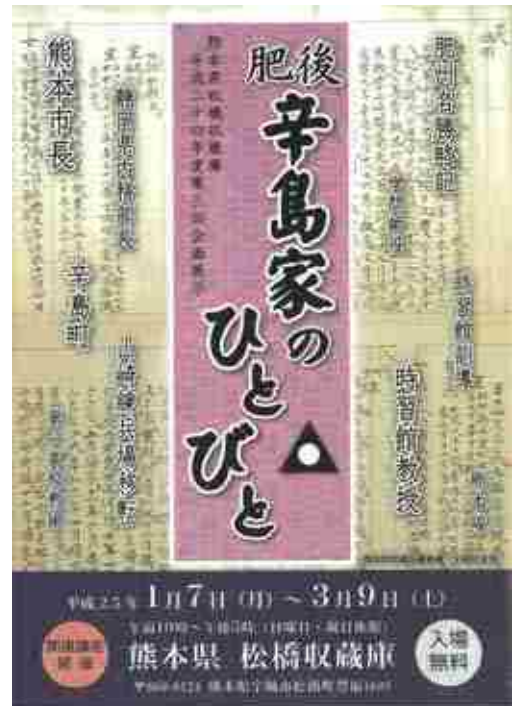
<主な展示資料>

肥州古城主考、肥州名勝略記、学政或問、藩臣閥閥録草稿

3 辛島家の交流

辛島家と交流があった人物ゆかりの資料を展示し、肥後辛島家と著名人の交流について紹介した。

<主な展示資料>



秋山玉山書幅、樂享貞心幅、清浦奎吾書扁額、谷干城書簡

4 辛島家のひとびと（近現代）

第11代・彝蔵から第14代・知己とその長女・信子まで、熊本市長を輩出した近現代の歴代当主の略歴やエピソードを解説し、関連資料を展示した。

<主な展示資料>

辛島格熊本市長就任裁可通知書、山崎練兵場敷地交換内許可願

5 塩屋町の辛島家

辛島家は塩屋町の町人地に居住していたが、のち侍屋敷地に移転している。その経緯を記した古文書や絵図を展示し、塩屋町と辛島家の関わりを紹介した。

<主な展示資料>

堀端屋敷屋敷方根帳之図面写、高麗門・塩屋町絵図（写真）

6 辛島家の旧蔵書

辛島家歴代当主が収集した儒学書をはじめ、和書・漢籍、明治・大正時代の書籍等の一部を展示した。

<主な展示資料>

論語集註、日本書紀、静岡県大正震災記録、辛島熊本市長之功績

7 辛島家ゆかりの地

万日山にある辛島家の墓地、辛島町、辛島公園等の辛島家ゆかりの地を写真で紹介するとともに、墓碑の拓本を展示した。

<主な展示資料>

辛島蘭軒墓碑銘（拓本）、辛島格墓碑銘（拓本）、辛島公園写真



・関連行事 講座「肥後辛島家のひとびと」

第1回 第四代辛島道珠 1月19日（土）

担当（講師）：田中（孝）

第2回 第八代辛島才蔵 2月 2日（土）

担当（講師）：田中（孝）

第3回 第十二代辛島格 2月16日（土）

担当（講師）：松本（晃）

・担当 田中（孝）・松本（晃）



⑤ 火山と地震

- ・ **開催期間** 平成25年3月22日～5月31日
- ・ **協力（資料提供）**
須藤靖明氏、嶋村清氏、岩下篤氏、堀川城治氏、池辺伸一郎氏、阿蘇火山博物館
- ・ **観覧者数** 519人（3月末日まで）
- ・ **展示趣旨**

日本列島は、4つのプレートがぶつかり、大陸のプレートの下に海洋のプレートがもぐり込む位置にあります。そのため、日本列島では火山の活動や地震の活動が活発で、災害を引き起こす原因になると同時に、火山が作る風景や温泉などの恵みを私たちにもたらししてくれます。

今回の展示では、日本にはなぜ火山が多いのか、火山の噴火にはどのようなものがあるのか、また、なぜ地震が多く発生するのかなどについて科学的に解説し、自然と人との共生を探っていきます。

- ・ **展示資料数** 131点
- ・ **展示構成と主な展示資料**

1 プレートと地震

海底地形図、地球内部の仕組みなどの図、関東大震災直後に作られた地質図を示し展示の導入とし、日本列島近辺で発生した地震の震源立体地図、プレート境界地震モデル、地震計で揺れを計るなどのハンズオンを多用し地震の仕組みについて紹介。

＜主な展示資料＞

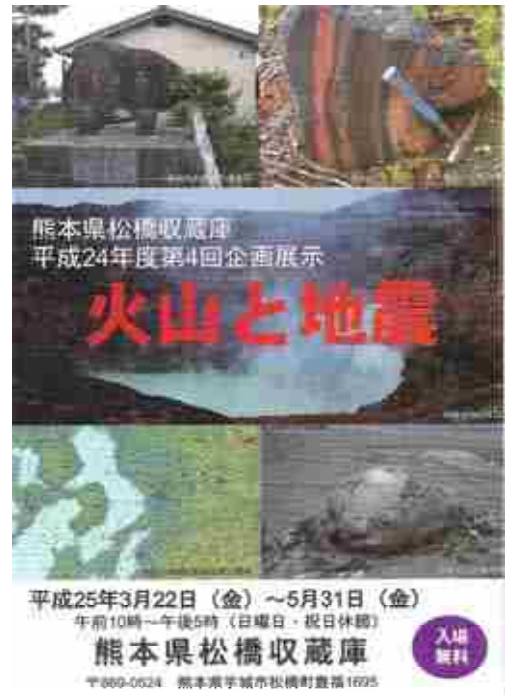
関東大震災直後に作られた地質図、プレート境界地震モデル

2 地震と被害地震

兵庫県南部地震、台湾地震、東北地方太平洋沖地震の被害写真を展示し、地震被害について知らせる。

＜主な展示資料＞

兵庫県南部地震、台湾地震、東北地方太平洋沖地震の被害写真



3 火山について

日本列島に火山が多い理由をプレートの動きから解説するとともに、マグマの種類によって、火成岩の種類、火山噴火の様子が違うことを説明。

<主な展示資料>

主な火成岩と鉱物、典型的な火山噴出物

4 過去に活動した熊本の火山

金峰山、大岳など熊本県内の活動していない火山の紹介を火山噴出物とともに行った。

<主な展示資料>

金峰山、大岳、八方ヶ岳、湯島、飛岳などの火山噴出物

5 現在活動する火山

九州の活動する火山として、阿蘇、雲仙、桜島、霧島を取り上げそれぞれがどのようにして形成されたかをパネルと火山噴出物を用いて説明。

<主な展示資料>

阿蘇、雲仙、桜島、霧島の溶岩、軽石 平成新山火砕流剥ぎ取り標本

6 火山の恵み

石材、温泉、地熱発電、国立公園など火山と関係する恵みを写真で紹介するとともに、民俗資料の石臼や、温泉析出物を展示。

<主な展示資料>

搗き臼（凝灰岩）挽き臼（深成岩）砥石（流紋岩）

7 火山と火山灰

火山灰は、火山ごとに異なることを顕微鏡観察を通して知ってもらうとともに火山灰層が鍵層となって、考古学の研究に役立っていることを紹介。

<主な展示資料>

アカホヤ火山灰、シラス火山灰、桜島火山灰、雲仙普賢岳火山噴出物、アカホヤ火山灰層剥ぎ取り標本

8 防災

阿蘇火山ハザードマップ、県内各地の地震防災マップを展示し防災に関する意識を高めてもらう。

<主な展示資料>

Web上に掲載されている熊本県内市町村の地震防災マップ

阿蘇火山ハザードマップ

・担当 川路・廣田



(2) 館外(移動)展示

① 地学の日くまもと企画展示

- ・ **会場** ビブレス熊本
- ・ **開催期間** 平成24年5月26日(日)
- ・ **観覧者数** 150人
- ・ **展示概要**
鉱物資源を展示し地質を身近なものに感じもらう。
- ・ **展示資料数** 15点
- ・ **特記事項** 熊本大学、県内の自然系博物館、地質コンサル各社との共催行事
- ・ **担当** 川路、廣田



② 熊本の祈りと感謝

- ・ **会場** 熊本県立装飾古墳館
- ・ **開催期間** 平成24年6月5日～7月1日
- ・ **観覧者数** 3631人
- ・ **展示概要**
企画展示「熊本の祈りと感謝」を、会場の広さに応じて、縮小し展示。
- ・ **展示資料数** 34点
- ・ **特記事項** 団体見学展示説明4校
- ・ **担当** 國本、迫田



③ 生きている地球

- ・ **会場** 熊本県立熊本西高等学校
- ・ **開催期間** 平成25年9月8日(日)
- ・ **観覧者数** 84人
- ・ **展示概要**
地震の仕組み、火山の仕組みについてパネル標本を用い分かりやすく説明。
- ・ **展示資料数** 36点
- ・ **特記事項** 熊本西高等学校の文化祭の一環として展示
- ・ **担当** 川路、廣田



④ ふしぎな鉱物の世界

- ・ **会場** 熊本県立鹿本高等学校
- ・ **開催期間** 平成24年9月29日（土）
- ・ **観覧者数** 259人
- ・ **展示概要**
結晶が綺麗な鉱物、鉄や銅、レアメタル等の資源鉱物などを解説パネルとともに展示。
- ・ **展示資料数** 149点
- ・ **特記事項** 鹿本高等学校の文化祭の一環として展示
- ・ **担当** 川路、廣田



⑤ 生きている地球

- ・ **会場** 熊本県立第一高等学校
- ・ **開催期間** 平成24年10月6日（土）
- ・ **観覧者数** 263人
- ・ **展示概要**
地震の仕組み、火山の仕組みについてパネル標本を用い分かりやすく説明。
- ・ **展示資料数** 36点
- ・ **特記事項** 第一高等学校の文化祭の一環として展示
- ・ **担当** 川路、廣田



⑥ くまもとの外来生物

- ・ **会場** 熊本県立第二高等学校
- ・ **開催期間** 平成24年10月21日（月）
- ・ **観覧者数** 434人
- ・ **展示概要**
企画展示「くまもとの外来生物」を会場の広さに応じて、縮小し展示。
- ・ **展示資料数** 71点
- ・ **特記事項** 第二高等学校創立50周年記念文化祭の一環として展示
- ・ **担当** 天野、前田



⑦ ふしぎな鉱物の世界

- ・ **会場** 熊本県立高森高等学校
- ・ **開催期間** 平成24年10月28日（日）
- ・ **観覧者数** 110人
- ・ **展示概要**
結晶が綺麗な鉱物、鉄や銅、レアメタル等の資源鉱物などを解説パネルとともに展示。
- ・ **展示資料数** 149点
- ・ **特記事項** 高森高等学校の文化祭の一環として展示
- ・ **担当** 川路、廣田



⑧ ふしぎな鉱物の世界

- ・ **会場** 熊本県立河浦高等学校
- ・ **開催期間** 平成24年11月17日（土）
- ・ **観覧者数** 58人
- ・ **展示概要**
結晶が綺麗な鉱物、鉄や銅、レアメタル等の資源鉱物などを解説パネルとともに展示。
- ・ **展示資料数** 149点
- ・ **特記事項** 河浦高等学校の文化祭の一環として展示
- ・ **担当** 川路、廣田



⑨ ちょっと昔のくらし探検

- ・ **会場** 熊本大学五高記念館
- ・ **開催期間** 平成25年1月25日～2月24日
- ・ **共催** 熊本大学五高記念館
- ・ **観覧者数** 436人
- ・ **概要**
企画展示「ちょっと昔のくらし探検Ⅴ」を会場に合わせて縮小し実施。
- ・ **展示資料点数** 145点
- ・ **特記事項**
展示作業は、熊本大学の博物館実習の授業の一環として、受講学生と一緒にを行った。
- ・ **担当** 國本、迫田



(3) 共催展示

① 天草の子どもたち

- ・ **会場** 天草市立本渡歴史民俗資料館
- ・ **開催期間** 平成24年7月21日～9月9日
- ・ **主催** 熊本大学五高記念館、天草市立本渡歴史民俗資料館、松橋収蔵庫

・ **観覧者数** 1054人

・ **概要**

本渡歴史民俗資料館の持つ玩具資料と麦島勝氏(八代市在住)の写真で一昔前の天草の子どもたちと遊びを紹介。

・ **特記事項**

関連にベントとして7月26日松橋収蔵庫の担当で「ムクロジのシャボン玉を飛ばそう」を開催。

参加人数 21人

- ・ **担当** 國本、迫田



② 昭和 遊びの情景

- ・ **会場** 松橋収蔵庫
- ・ **開催期間** 平成24年9月15日～12月15日
- ・ **主催** 熊本大学五高記念館、天草市立本渡歴史民俗資料館、松橋収蔵庫

・ **観覧者数** 1527人

・ **概要**

「ちょっと昔の暮らし探検Ⅴ」に合わせて、白石巖氏、麦島勝氏の写真と「天草の子どもたち」で展示した玩具とで、昭和30年代から昭和が終わるまでの子どもたちの遊びを紹介。

- ・ **担当** 國本、迫田



(4) その他の展示

① 収蔵庫通路スペースミニ展示

1 松橋収蔵庫いきものさがし

・ 展示期間 平成24年4月16日から6月14日

・ 展示の要旨

身近な自然への関心を誘うきっかけとなるように、松橋収蔵庫周辺で見ることのできる生物を標本と写真で紹介。

＜主な展示資料＞

シロハラ、メジロ、アブ・ハチ類、春に咲く植物観察キット（A4サイズの冊子）

・ 担当 稲垣、前田

2 「熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～」資料紹介

・ 展示期間 平成24年6月15日から7月13日

・ 展示の要旨

「熊本の自然と文化」20号の収蔵資料紹介で取りあげた資料の実物を展示し、紙面の資料紹介部分を大きく引き延ばしたパネルによる解説を行った。

＜主な展示資料＞

珪藻土、火熨斗、アイロン、ヒミズ、会約（熊本市辛島家資料）、セイヨウヒキヨモギ

・ 担当 稲垣、迫田、廣田、前田、松本（晃）



3 絵葉書にみる熊本の風景

・ 展示期間 平成24年7月17日から9月14日

・ 展示の要旨

絵葉書は古写真と同様の情報が得られる貴重な歴史資料となる。そこで今回は絵葉書の年代による変遷や種類などの歴史を紹介し、明治から昭和初期の県内各地の景勝地や観光名所を写した絵葉書を展示・解説した。

＜主な展示資料＞

熊本城絵葉書「明治十年戦役前の熊本城天守閣」、陸軍特別大演習記念熊本名勝絵葉書「熊本画津湖」、阿蘇山解説入るはがき、球磨川下り記念「(肥後) 球磨川 (其一)」

・ 担当 松本（晃）



4 「熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～」資料紹介

・ **展示期間** 平成24年9月18日から10月12日

・ **展示の要旨**

「熊本の自然と文化」21号の収蔵資料紹介で取りあげた資料の実物を展示し、紙面の資料紹介部分を大きく引き延ばしたパネルによる解説を行った。

＜主な展示資料＞

ミシン、カヤキリ、御教諭書・商売往来写（嘉島町安藤家資料）、ムラサキ、玄武岩（湯島）

・ **担当** 稲垣、迫田、廣田、前田、松本（晃）

5 郷土玩具

・ **展示期間** 平成24年10月15日から12月14日

・ **展示の要旨**

全国には郷土玩具と呼ばれるものがたくさんある。しかし郷土玩具という言葉が定着したのは昭和初期で、比較的新しい概念である。郷土玩具が生まれた背景を「郷愁」と「観光」の二つをキーワードにして紹介する。

＜主な展示資料＞

雉子車、木葉猿、肥後鞠、東北こけし、三春駒、笹野彫り、鳥取流雛、深大寺藁馬、三次土鈴、松山姫達磨、松山張り子、アイヌの熊彫り、佐賀菱人形、豊橋玉子人形、埴輪、お土産こけし

・ **担当** 迫田



6 「熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～」資料紹介

・ **展示期間** 平成24年12月17日から平成25年1月14

・ **展示の要旨**

「熊本の自然と文化」22号の収蔵資料紹介で取りあげた資料の実物を展示し、紙面の資料紹介部分を大きく引き延ばしたパネルによる解説を行った。

＜主な展示資料＞

ニホンマムシ、辛島格熊本市長就任裁可通知書（熊本市辛島家資料）、アヤメ、アクチノ閃石、麻の着物

・ **担当** 稲垣、迫田、廣田、前田、松本（晃）

7 大昔、宇土半島は火山だった 大岳火山岩類

・ **展示期間** 平成25年1月15日から3月14日

・ **展示の要旨**

宇土半島の大部分は、大昔に大岳周辺で火山活動が起きたためにできたものである。ここでは、その火山活動や火山がもたらしたものについて紹介し、その溶岩や噴出物を展示した。

<主な展示資料>

大岳周辺の噴火によってできた火山岩および火砕岩15点

・ **担当** 廣田



8 「熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～」資料紹介

・ **展示期間** 平成25年3月15日から4月12日（予定）

・ **展示の要旨**

「熊本の自然と文化」23号の収蔵資料紹介で取りあげた資料の実物を展示し、紙面の資料紹介部分を大きく引き延ばしたパネルによる解説を行った。

<主な展示資料>

御家記写（森下功旧蔵資料）、ルリハッカ、ブナの葉の化石、ドンザ、リンボウガイ

・ **担当** 稲垣、迫田、廣田、前田、松本（晃）

②県庁地下通路展示

・ **開催期間** 平成25年2月1日～28日

・ **展示趣旨**

県職員及び県庁利用者に対して、松橋収蔵庫の概要を記載したパネルや収蔵資料を展示することにより、松橋収蔵庫で実施している「県民参加の博物館活動」について周知と理解を図る。

<主な展示資料>

九曜紋入陣笠、アラフラオオニシ標本、ハナシノブ標本、天覧石材標本
河俣塗膳

・ **担当** 田中（孝）



2 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！

さまざまな魅力を秘めた熊本の自然に触れ、学ぶ家族向けの観察会。

① 外来植物を観察しよう

- ・日時 7月15日（日） 10：00～12：00
- ・場所 松橋収蔵庫
- ・参加人数 28人
- ・概要 松橋収蔵庫周辺に生育する外来植物の観察
- ・担当 天野、前田



② ヒメボタルを観察しよう

- ・日時 7月21日（土） 18：00～19：30
- ・場所 菊池溪谷
- ・参加人数 22人
- ・講師 田中英昭氏（九州自然環境研究所）
- ・概要 森の中で光る、小さなホタルの観察
- ・担当 坂梨、稲垣



③ 河原の石を観察しよう

- ・日時 8月11日（土）
10：00～12：00
- ・場所 白川 子飼橋左岸上流
- ・講師 岩崎泰穎氏（熊本大学名誉教授）
- ・参加者数 30人
- ・概要 河原の石の形や大きさ、種類を調べ、なぜここにそのような石があるかを考える。
- ・担当 川路、廣田



④ 水辺の外来植物を観察しよう

- ・日時 7月29日(日) 10:00～12:00
- ・場所 下江津湖周辺
- ・講師 原田道生氏(熊本記念植物採集会会員)
- ・参加者数 18人
- ・概要 下江津湖の水辺に成育する外来植物の観察
- ・担当 天野、前田



⑤ 海辺の生き物を観察しよう

- ・日時 8月4日(土) 13:30～15:30
- ・場所 天草市牛深町
- ・講師 松本達也氏(貝類研究家)
- ・参加者数 12人
- ・概要 磯で見ることのできる貝類などの観察
- ・担当 坂梨、稻垣



⑥ 夏の星座を見てみよう

- ・日時 8月17日(金) 20:00～22:00
- ・場所 熊本県民天文台
- ・講師 艶島敬昭氏、中島尚氏、西嶋好美氏(熊本県民天文台役員)
- ・参加者数 96人
- ・概要 夏の大三角形、天の川、サソリ座など夏の夜空を県民天文台職員の解説で観察。
- ・担当 川路、廣田

⑦ 海辺の植物を観察しよう

- ・日時 9月23日 10:00～12:00
- ・場所 グリーンスポーツみなまた
- ・参加者数 10人
- ・概要 海岸沿いや海岸近くに生育する植物の観察
- ・担当 天野、前田



⑧ 中秋の名月を見よう探そう

- ・日時 9月30日(日)
19:00～21:00
- ・場所 熊本県民天文台
- ・講師 艶島敬昭氏、中島尚氏、西嶋好美氏(熊本県民天文台役員)
- ・参加者数 35人
- ・概要 熊本県民天文台の望遠鏡を通して、中秋の名月を観察し、月の写真をデジカメや、カメラ付携帯電話を用いて撮影する。
- ・担当 川路、國本、廣田



⑨ 化石を観察しよう

- ・日時 10月28日(日)
10:00～15:00
- ・場所 御所浦
- ・講師 岩崎泰穎氏(熊本大学名誉教授)
- ・参加者数 30人
- ・概要 御所浦島にて恐竜時代の二枚貝やアンモナイトなどの化石を発掘。
- ・担当 川路、廣田



⑩ 化石をクリーニングしよう

- ・日時 11月11日(日)
10:00～12:00
- ・場所 松橋収蔵庫
- ・講師 岩崎泰穎氏(熊本大学名誉教授)
- ・参加者数 33人
- ・概要 10月28日に採集した化石をクリーニングし、化石の名前を調べる。
- ・担当 川路、廣田



(2) 熊本を知る講座

熊本の自然や文化について学ぶ松橋収蔵庫で行う一般向けの講座。

① 古文書読み解き講座 初級編

- ・ **開催日** 平成24年6月～平成25年3月の第1土曜日（計10回）
- ・ **会場** 松橋収蔵庫
- ・ **受講者数** 267人（延べ）
- ・ **趣旨**

松橋収蔵庫が所蔵する歴史資料（古文書）を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。

また、熊本の歴史・文化についての理解を深め、松橋収蔵庫における博物館活動の充実を図る。

- ・ **使用資料**
 - 「桃太郎 其一 其二」『訂正 帝国讀本 卷之四』（吉倉眞収集資料）
 - 『通俗伊蘇普物語 卷之二 卷之三』（高森町安藤家資料）
 - 「肥後孝子傳 後編 上」（高森町安藤家資料）
 - 「肥後名勝略記」（森下功旧蔵資料）
 - 「銀臺遺事」（熊本市辛島家資料）
- ・ **担当（講師）** 田中（孝）・松本（晃）

② 暮らしの中の民俗学

- ・ **開催日** 平成24年6月～平成25年3月 第2木曜日（計10回）
- ・ **会場** 合志市御代志市民センター
- ・ **主催** 松橋収蔵庫、合志市教育委員会
- ・ **参加者数** 168人（延べ）
- ・ **趣旨**

熊本で、日頃何気なく行っている行事やしきたりのいわれや意味を理解することにより、伝承文化の意義や次世代に伝えていくことの大切さを伝えるこ。

- ・ **各回の内容**
 - 6月14日 くらしのリズム
 - 7月12日 毎年繰り返す行事
 - 8月 9日 妊娠、誕生、子ども時代の儀礼
 - 9月 6日 結婚と家族
 - 10月11日 老人と死にまつわる儀礼

- 1 1 月 8 日 男と女の民俗学
- 1 2 月 1 3 日 ハレとケとケガレ
- 1 月 1 0 日 民俗学とこれからの暮らし
- 2 月 1 4 日 合志の民俗
- 3 月 1 4 日 熊本の祭りと行事

・担当（講師） 國本

③シダ学講座

・開催日時 6 月～1 2 月の第 2 土曜日

・講師

高宮正之氏（熊本大学大学院教授） 6、1 1 月

甲斐数美氏（熊本記念植物採集会会員）1 0 月

石坂征勝氏（熊本記念植物採集会会員）8、9 月

・参加者数 6 8 人(延べ)

・趣旨 身近なシダ植物について、その見分け方や体のつくりの違い、生育環境の違いなどを学ぶ。

・各回の内容

6 月 9 日 講義「シダ植物とは」

7 月 1 4 日 荒天のため中止

8 月 1 1 日 シダ観察会と採取

9 月 8 日 シダ観察会と採取

1 0 月 1 3 日 シダ観察会と採取

1 1 月 1 0 日 講義「シダ学の現在」

1 2 月 8 日 シダ観察会と採取

・担当 天野、前田



④貝類学講座

・開催日時 6 月～2 月の第 3 日曜日（9 回）

・講師 松本達也氏（貝類研究家）

・参加者数 9 0 人（延べ）

・内容

松橋収蔵庫が所蔵する、立志徹郎貝類コレクションを用いて、分類群ごとに貝の特徴を学び、識別力を養った。貝類は種類が多く、また、似た種類も多いため、一回ずつ、科ごとにその科の特徴を覚え、少なくとも科だけは識別できるようになっ

た。

- ・担当 坂梨

⑤ 熊本の大地の成り立ち

- ・開催日時 6月～3月の第1日曜日（9回）
- ・参加者数 136人（延べ）
- ・趣旨

熊本は、火山や古い時代の堆積岩、プレートテクトニクスを説明できる堆積物などがあり、日本列島の成り立ちを知ることのできる県である。熊本の大地の成り立ちを通し、日本列島の成り立ちを講義や巡検を通して学んだ。巡検では、熊本で見られる典型的な地質現象が見られる場所を観察し、講義の内容を確かめながら熊本の大地の成り立ちにより深く興味を持ってもらった。

- ・各回の内容

6月 3日 講義 日本列島の地質と熊本の地質

7月 1日 巡検 宇土半島 姫の浦層群の地質

8月 12日 巡検 人吉 四万十帯に見られるメランジュの観察

9月 2日 巡検 八代 矢山岳の石灰岩

10月 7日 巡検 益城 津森層の観察と木山変成岩

11月 4日 巡検 天草 遠見山化石帯、高浜変成岩、陶石

12月 9日 巡検 宇土半島 姫の浦層群の地質

2月 3日 講義 24年度巡検地の地質的意義

3月 3日 巡検 巨晶花崗岩、筒ヶ岳花崗岩、玉名花崗閃緑岩

- ・担当（講師）川路、廣田



⑥ 環境学習会

- ・主催 松橋収蔵庫、熊本自然環境研究会
- ・開催日時 5月～3月の第4土曜日（10回）※1月は休講
- ・講師 今江正知氏（熊本自然環境研究会会長）
永田瑞穂氏（熊本自然環境研究会事務局長）
- ・参加者数 72人（延べ）
- ・内容

熊本は、多様で豊かな自然環境に恵まれたところである。この自然環境はいかに

して作られ守られてきたのかを講義と野外実習を交えて学んだ。今年度は、去年座学で学んだことを野外に出て自分の目で確認することができ、自らの生活と自然環境というものが、かけ離れたものではないということを自覚することができた。

・担当（講師）坂梨

(3) 「くまもと自然と文化の学芸員」養成講座

身近な自然・文化資源の調査研究に取り組む意欲を持つ高齢者及び一般を対象に、自然分野、歴史分野、伝承文化分野の3講座を開催し、所定の要件を満たした講座修了者を「くまもと自然と文化の学芸員」としての認定する事業。

熊本の自然・文化資源の活用及び県内外への情報発信や「県民参加の博物館活動」のリーダーを育成することを目指す。

① 自然分野

・会場

・開催日 平成24年5月～平成25年3月
第4木曜（計11回）

・認定者数 17名

・各回の概要

5月28日 開校式及び白嶽湿地の動物、特に
トンボ類の観察会

講師 寺崎昭典氏（熊本動植物研究所所長）

6月28日 白嶽と白嶽森林公園で植物観察

7月31日 熊本県水産研究センターの施設見学
宮津海遊公園で磯の生き物の観察

講師 松本達也氏（貝類研究家）

8月30日 白嶽森林公園で写真の撮り方

講師 津田堅之介氏（動物写真家）

9月12日 牛深町六郎次山でアカハラダカの渡りの観察

10月25日 高杣島と樋合島で海辺の植物観察

11月22日 次郎丸岳で植物観察

12月20日 宇土半島で姫の浦層群に見られる地質構造の観察
上天草市千巖山にて化石観察

1月24日 御所浦にて不整合の観察及び白亜紀資料館見学
御所浦層群の貝化石の観察



- 2月21日 湯島層の観察及び化石の観察
湯島玄武岩の観察
- 3月21日 早春の湿地の植物の観察
閉講式
- ・担当（講師） 坂梨、天野、川路、稲垣、前田、廣田

② 歴史分野

- ・会場 松橋収蔵庫
- ・開催日 平成24年6月～平成25年3月の第2金曜日（計10回）
- ・認定者数 11人
- ・各回の概要

- 6月 8日 開講式
講座①「くまもと自然と文化の学芸員」養成講座の目的
講座②「松橋収蔵庫施設見学」
- 7月13日 講座③「歴史資料の整理・保存」
講座④「古文書の取扱いと整理」
- 8月10日 講座⑤「掛軸の取扱いと整理」
講座⑥「自主調査の方法」
- 9月14日 講座⑦「松橋町内の薩摩街道を歩く①」
講師 高口明氏（薩摩街道案内人）
村井眞輝氏（宇城市文化財保護委員）
- 10月15日 講座⑧「松橋町内の薩摩街道を歩く②」
講師 高口明氏（薩摩街道案内人）
吉田和義氏（元宇城市文化財保護委員）
- 11月 9日 講座⑨「金石文・拓本を学ぶ」
講座⑩「拓本実習」
講師 前川清一氏（肥後金石研究会主宰）
- 12月17日 講座⑪「自主調査結果発表①」
1月11日 講座⑫「自主調査結果発表②」
2月 8日 講座⑬「本渡歴史民俗資料館施設見学」
講座⑭「本渡歴史民俗資料館について」
講師 本多康二氏（本渡歴史民俗資料館）



講座⑮「アーカイブズ施設見学」

講座⑯「屏風下張り剥ぎ実習」

講師 砂月明海氏（天草アーカイブズ）ほか

3月 8日 講座⑰「自主調査結果発表③」

講座⑱「地域の歴史資源の魅力をどのように次世代に継承するか」

修了式（認定証授与）

・担当（講師） 田中（孝）・松本（晃）

③ 伝承文化分野

・会場 阿蘇市阿蘇文化世界遺産推進室

・開催日 平成24年6月～平成25年3月 第4木曜日（計9回）

・認定者数 16人

・各回の内容

6月28日 受講者自己紹介

講義「民俗学とは・民俗を調査する意義」

講義「阿蘇の民俗概観」

7月 九州北部豪雨災害のため中止

8月30日 講義「民俗調査の分野」

講義「民俗調査の手順」

9月27日 講義「調査項目を立てる」

実習「民俗調査実習」

10月25日 講義「金石文入門」

実習「拓本実習」 場所：霜宮神社

講師 前川清一氏（肥後金石研究会主宰）

11月22日 講義「民具の意義」

12月27日 講義「民具調査の手順」

実習「民具調査実習」

1月24日 講義「調査報告書のまとめ方」

2月28日 調査結果中間報告会

3月28日 調査レポート発表会

修了式（認定証授与）

・担当（講師） 國本、迫田



(4) キッズミュージアム

夏休みに楽しく遊びながら自然や科学、歴史、伝統文化について体験する子ども向けのプログラム。

- ・ **会場** 松橋収蔵庫
- ・ **開催日** 平成24年7月21日（土）、22日（日）
- ・ **参加者数** 321名
- ・ **体験メニュー**

7月21日

鉱物万華鏡を作ろう、草木染めでエコバッグを作ろう、あい染めにチャレンジ、葉脈標本でしおりを作ろう、紙でっぼうを作って遊ぼう、葉っぱでジグソーパズルを作ろう、和とじノートを作ろう、ウグイス笛を作ろう、拓本をとってみよう

7月22日

化石レプリカを作ろう、水でっぼうを作って遊ぼう、岩絵の具を使って絵を描こう、石臼できなこを作ろう、化石のペンダントを作ろう、葉っぱ模様のうちわを作ろう、セミのぬけがらをさがそう、古銭のレプリカを作ろう、昔のおもちゃを作って遊ぼう



(5) バックヤードツアー

日常公開していない資料収蔵室等を一般に公開する事業。松橋収蔵庫の資料や日常の資料整理業務等について、各分野の担当職員が解説する。

< 第1回 >

- ・ **開催日** 11月12日（土）
- ・ **会場** 松橋収蔵庫
- ・ **参加者数** 12人

< 第2回 >

- ・ **開催日** 2月24日（土）
- ・ **会場** 松橋収蔵庫
- ・ **参加者数** 27人



(6) 移動体験教室及び講師派遣

移動体験教室はPTAや子ども会などにキッズミュージアムのメニューから多人数で同時に体験できるメニューを出前する事業。講師派遣は学校の授業や公民館などの生涯教育機関等に講師を派遣した。

① 移動体験教室

6月30日	熊本市立富合小学校PTA 化石レプリカ、空飛ぶ種
8月2日	熊本市立託麻南小学校家庭教育学級 化石レプリカ、草木染め
8月4日	御船町 小坂子ども会 石臼で黄粉団子
8月19日	熊本市 上宮地子ども会 古銭レプリカ
8月19日	宇城市 下郷子ども会 空飛ぶ種
8月21日	八代市立麦島小学校児童育成クラブ 石臼で黄粉団子
8月25日	八代市 上古賀町親子会 葉脈標本
8月26日	荒尾市立桜山小学校PTA 化石レプリカ
9月15日	嘉島町立嘉島西小学校PTA 化石レプリカ
9月23日	玉名市立睦合小学校PTA 草木染め
9月30日	八代市立松高小学校PTA 空飛ぶ種、石臼で黄粉団子
10月8日	宇城市 下糸石子ども会 草木染め
10月20日	熊本市立五福小学校PTA 石臼で黄粉団子
11月2日	阿蘇市立内牧小学校 化石レプリカ
11月17日	益城町立広安西小学校PTA 空飛ぶ種
11月25日	嘉島町立嘉島東小学校PTA 化石レプリカ



② 講師派遣

6月 1日	県立宇土中学校「未来探求講座」
8月11日	藤崎台歴史・自然観察会
9月19日	宇城市豊野コミュニティーセンター民俗講座（2月まで毎月1回 計5回）
10月 4日	宇城市立豊福小学校6年理科「火山と地震」
11月 4日	宇土市立花園小学校「花っこ祭り」
12月 6日	八代市立郡築小学校3年「石臼で黄粉団子」
1月22日	熊本大学「博物館経営論」
1月27日	宇城市立豊福小学校4年「草木染め」
2月13日	宇城市豊野地区民政児童委員研修会
3月 7日	宇城市男女共同参画社会推進委員研修会

(7) 博物館実習、職場体験等

① 博物館実習

・ 期間 平成24年9月10日～21日（うち7日間）

・ 受入学生 熊本大学 11人

・ 実習内容

10日（月）	午前	オリエンテーション、収蔵庫業務説明、施設案内
	午後	各分野業務説明（収蔵室資料見学含む）
11日（火）	午前	企画展示「ちょっと昔の暮らし探検Ⅴ」内容説明
	午後	展示実習（会場設営、写真パネル、キャプション制作）
12日（水）	午前	展示実習（収蔵室からの資料移動）
	午後	展示実習（ワークシート、展示解説シート作成）
13日（木）	午前	展示実習（資料列品）
	午後	写真撮影実習、展示実習（ワークシート、展示解説シート作成）
14日（金）	午前	展示実習（ライティング）
	午後	分野別資料整理実習
19日（木）	全日	分野別資料整理等実習
20日（金）	午前	分野別資料整理等実習
	午後	共通 課題発表、意見交換



②中学生職場体験

- ・ 期間 平成24年9月3日（月）～4日（火）
- ・ 受入生徒 熊本県立宇土中学校 2年生10人
- ・ 体験内容 歴史、民俗、動物、植物、地学各分野の資料整理

(8) ミュージアムパートナー制度

様々な博物館活動への県民の参加を目指し、平成20年度からミュージアムパートナーズクラブ制度を開始したところ、平成23年度までに129人の登録があった。

その一方で、実質的な活動は「資料整理グループ」「草木染めの会」「動植物調査会」にとどまり、様々な博物館活動の受け皿とはよべない現状にあった。

このため、参加者がより主体的に活動できるよう再検討し、24年度から松橋収蔵庫ミュージアムパートナー制度に再編した。

- ・ 登録説明会 第1回 5月19日 参加38人
第2回 6月24日 参加12人
第3回 10月27日 参加 3人
- ・ 登録者数 53人



(9) 松橋収蔵庫ミュージアムパートナーズクラブ

松橋収蔵庫ミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、平成24年5月に設立総会を開催し、会則・役員を定めて発足した。

会員共有の知識や経験を高め、自己実現を図ることを目的として、現在は7つの活動クラブに分かれて活動しており、松橋収蔵庫との協働により、会員が自らの意思に基づいて熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

・ 活動内容

- 5月19日 松橋収蔵庫ミュージアムパートナーズ
クラブ設立総会
平成24年度総会
- 6月24日 第1回連絡会
- 7月21日 夏休みキッズミュージアム共催
(～22日)
- 10月27日 第2回連絡会



①「草木染めの会」

- ・活動人数 14人
- ・活動日 第2土曜日
- ・活動内容
熊本の植物を使つての草木染め実践
藍の栽培と藍染め実践
キッズミュージアムでの「草木染め」運営



②「植物の会」

雁回班

- ・活動人数 9人
- ・活動日 毎月第2木曜日
- ・活動内容
雁回山の植物相調査と標本作製
会員配布用会報「植物の会雁回班」（8回）の発行

はなしのぶ班

- ・活動人数 9人
- ・活動日 毎月第2日曜日
- ・活動内容 南阿蘇ビジターセンター周辺及び野草園の植物相調査と標本作製

③「地学研究会」

- ・活動人数 6人
- ・活動日 毎週金曜日
- ・活動内容 収蔵庫の岩石、鉱物、化石の同定

④「野鳥研究会」

- ・活動人数 8人
- ・活動日 第一木曜日
- ・活動内容 南外輪山の九州自然歩道を歩きながら、野生動植物を観察

⑤「阿蘇火山調査会」

- ・活動人数 10人
- ・活動日 第3木曜日
- ・活動内容 阿蘇中央火口丘群の火山噴出物の調査

⑥松橋地域史調査クラブ

- ・活動人数 6人
- ・活動日 毎月第1土曜日
- ・活動内容
秋岡家文書（松橋郷土資料館所蔵）の写真撮影
秋岡家文書「宝暦十四年見図帳」「文化七年覚帳」の読解

⑦交流支援クラブ

- ・活動人数 5人

・ **活動日** 毎月第1・3火曜日

・ **活動内容**

ミュージアムパートナーズクラブ総会や連絡会の準備

ミュージアムトークや展示解説会等の会員交流イベントの企画運営

3 資料収集整理活動

(1) 各分野の資料収集、整理活動（平成25年3月31日現在）

① 動物

・現在の資料収蔵点数

立志徹郎氏寄贈貝類標本	約57,500点
河川水辺の国勢調査成果品	約1,000点
入江氏委託動物標本	約800点
入江切手コレクション	約3,000点
宇土高校寄贈液浸標本	約100点
済々黌高校寄贈液浸標本	約2,500点
熊本大学教育学部寄贈液浸標本	約500点
その他	約12,000点
計	約77,400点

・平成24年度の受入点数

藤田慎一氏資料（昆虫 1000点、図書2000点）
熊本県立第一高等学校標本（液浸他 2000点）
熊本県鳥獣保護センター資料 30点

・資料登録点数

分類群	乾燥（剥製等）	液浸	計
NB11哺乳類	161	97	258
NB12鳥類	855	1	856
NB13両生・爬虫類	14	293	307
NB14魚類	18	1,758	1,776
NB15昆虫類	2,129	384	2,513
NB16多足類	3	603	606
NB17甲殻類	4	791	795
NB18軟体動物	3,892	234	4,126
NB19その他分類群	5	27	32
計	7,072	4,188	11,260

・平成24年度作業内容

剥製および冷凍鳥獣受け入れおよび登録、液浸標本作製および登録、乾燥昆虫標本作製および登録、立志貝類標本登録・収納および複標本分類整理

② 植物

・ 現在の資料収蔵点数 約 2 6 0 , 0 0 0 点

・ 登録点数

N B 2 (植物) 1 3 4 , 7 0 0 点

N B 3 (菌類) 1 , 8 3 5 点

N B 4 (藻類) 4 5 点

計 1 3 6 , 5 8 0 点

・ 平成 2 4 年度の寄贈資料

渡邊五十二標本 2 7 9 点

馬場美代子標本 4 点

甲斐数美標本 2 点

河上昭夫標本 約 4 , 0 0 0 点

前田哲弥標本 約 7 0 0 点

・ 平成 2 4 年度の主な整理登録作業

熊本大学標本 (コケ類) の登録作業

職員作製標本および個人寄贈標本の登録、配架作業

③ 地質

・ 現在の資料収蔵点数

今西茂標本 約 1 , 5 0 0 点

長谷義隆標本 約 1 0 , 0 0 0 点

アトラスくまもと標本 1 7 4 点

荒尾宏岩石標本 2 0 0 点

熊本大学理学部地学科進級論文標本 約 4 . 7 0 0 点

河野通幸化石標本 2 1 7 点

岩崎泰穎標本 約 6 , 5 0 0 点

津末昭生標本 約 4 , 3 0 0 点

熊本大学工学部標本 約 1 0 , 0 0 0 点

熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本 約 5 , 3 0 0 点

村田正文標本 約 1 , 1 0 0 点

遠藤誠道植物化石標本 約 6 0 0 点

斉藤林次標本 約 2 0 0 点

早田幸作標本 約 2 0 0 点

千藤忠昌標本 約 1 , 3 0 0 点

植田和男標本 約 1 0 0 点

フェイス女学院松本唯一標本	約 270 点
桂輝雄標本	約 100 点
その他(少数寄贈、職員製作など)	約 200 点
計	約 46,000 点

・登録点数

岩石	堆積岩	1,262
	火成岩	1,367
	変成岩	479
	その他	145
鉱物・鉱石	元素鉱物	103
	硫化鉱物	279
	ハロゲン化鉱物	92
	酸化・水酸化鉱物	369
	炭酸 塩・硝酸塩・ホウ酸塩鉱物	307
	硫酸塩・タングステン酸塩鉱物	288
	リン酸塩・ヒ酸塩・バナジン酸塩鉱物	168
	珪酸塩鉱物	1,158
	その他	141
植物化石	被子植物	93
	裸子植物	32
	シダ植物	29
	その他	27
動物化石	脊椎動物	63
	原索動物	4
	棘皮動物	75
	節足動物	36
	軟体動物	960
	腕足動物	90
	刺胞動物	73
	その他	40
微化石	動物	27
	植物	4
その他	その他	2

合計 7,713

・平成24年度整理登録作業

千藤忠昌標本の整理

熊本大学工学部鉱物標本の整理・登録

岩崎泰穎標本の整理済分の登録

展示など使用標本の登録

④ 歴史

・資料収蔵点数及び登録点数

	コレクション名	資料点数	登録点数
1	熊本市辛島家資料	23,393	0
2	鏡町下山家資料	2,977	0
3	渡邊祥隆寄贈資料	1	1
4	不知火町直江家資料	43	43
5	嘉島町安藤家資料	769	769
6	牛深市浜田家資料	140	0
7	齊藤俊三収集資料	1,071	0
8	高森町久々宮家資料	34	34
9	高森町瀬井家資料	544	544
10	西崎俊秋寄贈資料	204	0
11	熊本市猿渡家資料	1,879	446
12	三角千代子寄贈資料	6	0
13	高村勇三収集資料	1,480	0
14	坂口雅流収集資料	1,656	0
15	吉倉眞収集資料	17	17
16	高森町安藤家資料	784	784
17	森下功旧蔵資料	1,065	1065
18	福田巧旧蔵資料	18	18
19	甲斐英子寄贈資料	18	18
20	田口幸宗寄贈資料	150	0
21	岩永武男寄贈資料	913	0
22	松本達也寄贈資料	8	8
23	西山佳代寄贈資料	6	6
24	東アサオ旧蔵資料	8	8
25	手島清士寄贈資料	1	1
26	八代市竹田家資料	523	0
27	池部美恵子寄贈資料	5	5
28	森内千佐寄贈資料	1	1
29	高須恒男寄贈資料	6	6
30	熊本市米村家資料	400	0
31	村井眞輝寄贈資料	1	1
32	大野恵子寄贈資料	2	2
33	緒方満寄贈資料	39	39
34	太田喜一郎寄贈資料	2	2

	コレクション名	資料点数	登録点数
35	廣吉秀澄寄贈資料	6	6
36	質地証書類	300	0
37	宇城市坂口家資料	6	6
38	松橋収蔵庫購入等資料	2	2
	合計	38,478	3832

・平成24年度寄贈資料（手続中）

- ・熊本市本田家資料（35点）
- ・岡本敬喜寄贈資料（2点）
- ・岩成邦忠寄贈資料（1点）

・平成24年度の主な整理登録作業

- ・歴史資料登録データベースの点検及び入力内容修正
- ・熊本市辛島家資料の整理台帳作成、一部を図書分野に移管

⑤ 民俗

・資料収集点数及び登録点数

大分類	小分類	収集点数(概数)	登録済点数
衣食住	衣	5 6 0	2 2 6
	食	8 9 0	6 0 9
	住	3 8 0	2 2 8
生産生業	自然物採集	2 3	2 3
	農業	6 9 0	6 8 0
	山樵	1 3 2	1 3 2
	採鉱・冶金	1 0	1 0
	漁撈・製塩	1 4 1	1 4 1
	狩猟	1 0	1 0
	養蚕・牧畜	1 8 3	1 8 3
	繊維	8 2	8 2
	諸職・手工芸	3 9 0	3 8 2
交通交易	交通	1 9 0	1 4 4
	交易	1 1 0	7 4
社会	社会	4 0	1 9
信仰	神社	8	8
	寺院	4 5	2 4

大分類	小分類	収集点数(概数)	登録済点数
信仰	民間信仰	3 0	2 6
民俗知識	教育	7 0	1 7
	医療	4 0	2 1
	暦	7	5
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	2 8 0	4 7
儀礼	年中行事	5 4	5 4
	人生儀礼	4 0	3 7
小計		4 , 4 0 5	
写真資料		1 5 4 , 4 0 0	3 , 6 3 2
合計		1 5 8 , 8 0 5	6 , 7 0 9

・平成24年度受入資料

歴史から移管資料(辛島家資料) 7 6 0 点

衣食住等資料 4 9 点

・平成24年度整理登録作業

・4 8 点整理登録

・写真資料については白石写真モノクロデータベース作成、白石モノクロ写真スキヤニング

(2) 資料貸出等

9 月 6 日～9 月 2 1 日	宇城市立豊福小学校 地学資料セット 1 点
1 0 月 1 0 日～1 2 月 1 0 日	国立科学博物館 動物資料 2 点
1 0 月 1 7 日～1 1 月 3 0 日	熊本県立図書館 歴史資料 4 点
1 1 月 7 日～1 1 月 2 2 日	熊本県立松橋高等学校 1 2 点
1 2 月 2 6 日	農山漁村文化協会 写真資料 1 点提供
1 月 2 9 日	タイワンリス防除等連絡協議会 動物資料 5 点
2 月 5 日～6 月 9 日	山鹿市立博物館 民俗資料 3 点
2 月 5 日～2 月 2 2 日	宇土市立花園小学校 民俗資料 1 2 点
2 月 1 9 日～3 月 1 日	熊本市立日吉中学校 地学資料 3 0 点

4 情報発信

(1) 熊本の自然と文化～松橋収蔵庫だより～

松橋収蔵庫で行う展示やイベント、収蔵資料の紹介などを行う広報誌で、年4回、2000部発行（A3二つ折り）。松橋収蔵庫ホームページでも公開。

① N o 2 0 (V o l 6 - 1) 平成24年6月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「くまもとの外来生物」紹介
- ・松橋収蔵庫ミュージアムパートナーズクラブ設立総会報告
- ・資料紹介「珪藻土」
- ・資料紹介「火熨斗とアイロン」
- ・資料紹介「ヒミズ」
- ・資料紹介「会約（辛島家資料）」
- ・資料紹介「セイヨウヒキヨモギ」



② N o 2 1 (V o l 6 - 2) 平成24年9月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「ちょっと昔の暮らし探検Ⅴ」紹介
- ・キッズミュージアム報告
- ・資料紹介「ミシン」
- ・資料紹介「カヤキリ」
- ・資料紹介「御教諭書・商売往来写（嘉島町安藤家資料）」
- ・資料紹介「ムラサキ」
- ・資料紹介「玄武岩（湯島）」



③ N o 2 2 (V o l 6 - 3) 平成24年12月15日発行

<掲載記事>

- ・企画展示「肥後辛島家のひとびと」紹介
- ・フィールドミュージアムへ飛び出そう報告
- ・資料紹介「ニホンマムシ」
- ・資料紹介「辛島格熊本市長就任裁可通知書」
- ・資料紹介「アヤメ」
- ・資料紹介「アクチノ閃石」



- ・資料紹介「麻の着物」

③ N o 2 3 (V o l 6 - 4) 平成 2 5 年 3 月 1 5 日 発行

< 掲載記事 >

- ・企画展示「火山と地震」紹介
- ・バックヤードツアー報告
- ・資料紹介「御家記写（森下功旧蔵資料）」
- ・資料紹介「ルリハッカ」
- ・資料紹介「約 3 0 0 万年前のブナの葉の化石」
- ・資料紹介「ドンザ」
- ・資料紹介「リンボウガイ」



(2) 企画展示図録

① 「熊本の祈りと感謝－民俗写真家の眼差し－」

- ・ A 4 5 8 ページ 平成 2 4 年 4 月 1 日 発行

② 「ちょっと昔のくらし探検Ⅴ」

- ・ A 4 6 0 ページ 平成 2 4 年 9 月 1 5 日 発行

(3) 収蔵資料目録

① 「熊本県文化企画課松橋収蔵庫資料目録 Vol.18 地質 4」

Krantz 標本Ⅲ 鉱物標本（白ラベル）

- ・ A 4 9 8 ページ 平成 2 4 年 3 月 3 1 日 発行

(4) 松橋収蔵庫ホームページ

インターネットの熊本県ホームページ内にサブサイトとして松橋収蔵庫ホームページを立ち上げました。展示や講座、イベントの情報その他、「熊本の自然と文化－松橋収蔵庫だより－」のバックナンバーや資料目録や図録もダウンロードできます。

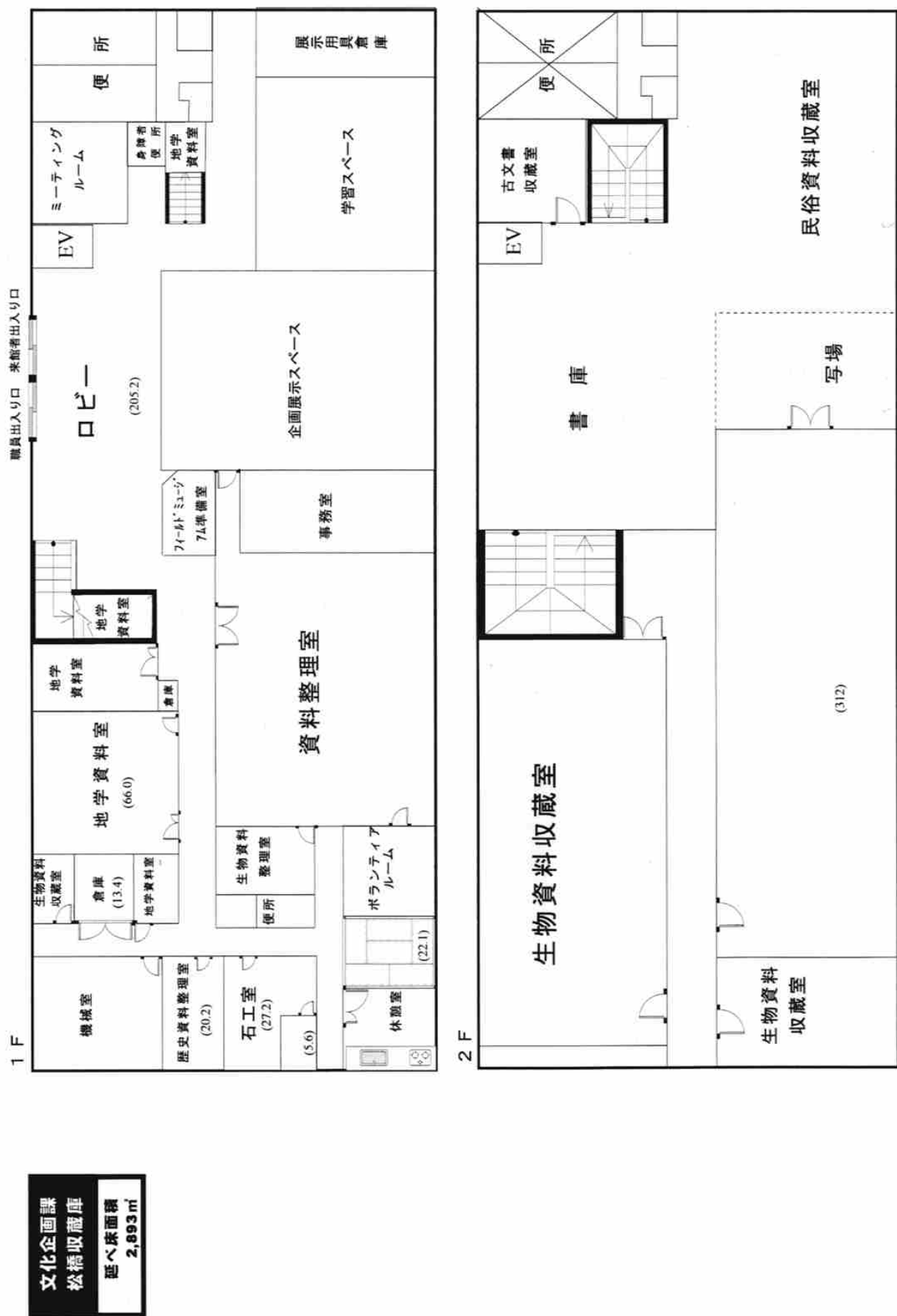
U R L [www//pref.kumamoto.jp/site/shuuzouko/](http://www.pref.kumamoto.jp/site/shuuzouko/)

5 資 料

(1) 平成24年度職員

文化企画課長	草野武夫
文化企画課審議員	宗村士郎
文化企画課博物館プロジェクト班	
課長補佐（班長）	松本淳一
主幹（民俗）	國本信夫
参事（動物）	坂梨仁彦
参事（地質）	川路芳弘
参事（植物）	天野守哉
主任主事（歴史）	田中孝行
博物館活動嘱託（民俗）	迫田久美子
博物館活動嘱託（植物）	前田哲弥
博物館活動嘱託（地学）	廣田志乃
博物館活動嘱託（動物）	稲垣玲弥
博物館活動嘱託（歴史）	松本晃世
資料整理嘱託	内田和良
資料整理嘱託	並木史郎
資料整理嘱託	蓑田二二男
資料整理嘱託	岩田奈穂（～8月）
資料整理嘱託	内田津由男（9月～）
資料整理嘱託	田中明日香（3月～）
資料整理嘱託	福田實（3月～）

(2) 熊本県松橋収蔵庫施設平面図



(3) 熊本県松橋収蔵庫資料利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本県松橋収蔵庫（以下「松橋収蔵庫」という。）が収蔵する資料を利用する場合（熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課職員（以下「文化企画課職員」という。）が業務として利用する場合を除く。）の手続きに関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の内容)

第2条 この要項で定める資料の利用とは、次のものをいう。

- (1) 資料の閲覧
- (2) 資料の借用
- (3) 資料の撮影及び撮影写真の公表

(利用の要件)

第3条 熊本県企画振興部地域・文化新興局文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）は、資料利用の申請がある場合において、当該申請が次の全てに該当するときは、資料の利用を許可することができる。

- (1) 松橋収蔵庫の日常の業務に支障がないこと。
- (2) 資料の取扱いについて、文化企画課職員の指示を守ることが約するものであること。
- (3) 営利を目的としないこと。
- (4) 政治的又は宗教的目的を持ってないこと。
- (5) 利用に関する全ての経費を利用者が負担するものであること。

2 前項の規定にかかわらず、特に必要があると認められる場合は、申請に応じて資料の利用を許可することができる。

(資料の利用の申請)

第4条 資料の利用を希望する者は、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める申請書を文化企画課長に提出しなければならない。

- (1) 資料の閲覧を希望する者は、事前に閲覧申請書（別紙様式1）を提出しなければならない。
- (2) 資料の借用を希望する者は、借用を希望する日の1週間前までに資料借用申請書（別紙様式2）を提出しなければならない。
- (3) 資料の撮影及び撮影した写真の公開を希望する者は、撮影を希望する日又は撮影した写真を公開する予定の日の1週間前までに、資料の撮影及び撮影写真の公開申請書（別紙様式3）を提出しなければならない。

(許可の通知)

第5条 文化企画課長は、前条の申請の内容が適当と認められるときは、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める通知を行うものとする。

- (1) 前条第2項に定める申請の場合 資料貸出承諾通知書(別紙様式4)
- (2) 前条第3項に定める申請の場合 資料貸出承諾通知書(別紙様式5)

(許可の取消し)

第6条 文化企画課長は次の各号のいずれかに該当するときは、第3条の許可を取消することができる。

- (1) 申請内容以外の利用があったとき。
- (2) 資料の取扱いについて文化企画課職員の指示を守らなかったとき。
- (3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(別紙様式 1)

熊本県松橋収蔵庫資料閲覧申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

住所 (団体の場合は事務所の主たる所在地)

(団体の場合は団体名)

氏名 (団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を閲覧したいので申請します。

1 閲覧目的

2 閲覧日時 年 月 日 時 ~ 時

3 閲覧希望人数

4 閲覧資料

名 称	資料点数	備考

5 閲覧者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

6 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・閲覧中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは閲覧者が負います。
- ・資料の撮影及びその写真を印刷物へ掲載する場合は別途申請します。

(別紙様式2)

熊本県松橋収蔵庫資料借用申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

住所(団体の場合は事務所の主たる所在地)

(団体の場合は団体名)

氏名(団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を借用したいので申請します。

1 借用目的

2 借用期間 年 月 日～ 年 月 日

3 借用資料

名	称	資料点数	備考

4 借用責任者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・借用中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは借用者が負います。
- ・資料を展示する場合は所有者名として「熊本県(松橋収蔵庫)」と明示します。
- ・資料の撮影及びその写真を印刷物へ掲載する場合は別途申請します。

(別紙様式3)

熊本県松橋収蔵庫資料撮影及び撮影写真の公開申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

住所(団体の場合は事務所の主たる所在地)

(団体の場合は団体名)

氏名(団体の場合は代表者氏名)

印

下記のとおり資料を撮影及び撮影写真の公開をしたいので申請します。

1 撮影及び撮影写真の公開の目的

2 撮影写真公開の方法

3 撮影日時 年 月 日 時 ~ 年 月 日 時

4 撮影及び撮影写真の公開を行う資料

名 称	資料点数	備考

4 撮影及び公開の責任者連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 その他

- ・資料の取り扱いについては文化企画課職員の指示に従います。
- ・資料撮影中は資料の破損汚損がないよう細心の注意をはらいます。破損汚損があった場合はその責めは撮影者が負います。
- ・写真を公開する場合は所有者名として「熊本県(松橋収蔵庫)」と明示します。
- ・撮影した写真をこの申請内容以外で公開する場合は別途申請します。

(別紙様式 4)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

熊本県松橋収蔵庫資料貸出承諾書

平成 年 月 日付けで申請がありました資料の貸出については下記のとおり許可します。

記

1 貸出期間 平成 年 月 日～平成 年 月 日

2 貸出資料

3 その他

貸出前、貸出期間中であっても下記に該当する場合は、貸出許可を取り消すことがありますのでご了承ください。

(1) 申請内容が遵守されなかったとき。

(2) 申請内容以外の利用があったとき。

(3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

(別紙様式 5)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

熊本県松橋収蔵庫資料撮影及び撮影写真の公開承諾書

平成 年 月 日付けで申請がありました資料の撮影及び撮影写真の公開については下記のとおり許可します。

記

1 撮影日時 年 月 日 時～ 年 月 日 時

2 撮影写真の公開方法

3 撮影及び撮影写真を公開する資料

名 称	資料点数	備考

3 その他

撮影中、公開中であっても下記に該当する場合は、撮影及び公開の許可を取り消すことがありますのでご了承ください。

- (1) 申請内容が遵守されなかったとき。
- (2) 申請内容以外の利用があったとき。
- (3) その他資料の破損、汚損の恐れが高いと認められるとき。

(4) 熊本県松橋収蔵庫の団体利用要項

(趣旨)

第1条 この要項は、学校又は社会教育関係団体等（以下「団体」という。）が熊本県松橋収蔵庫（以下「松橋収蔵庫」という。）を博物館資料や文化企画課職員が持つ持つ専門的な知識や能力を活用して活動を行うため利用する場合の手續に関し、必要な事項を定めるものとする。

(利用の要件)

第2条 熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）は、団体から松橋収蔵庫の利用の申請がある場合において、当該申請が次の各号の全てに該当するときは、利用を許可することができる。

- (1) 利用の内容が、資料の収集・整理・保管、調査研究、展示又は学習支援など松橋収蔵庫が行う博物館活動に関係するものであること。
- (2) 松橋収蔵庫の日常業務に支障がないこと。
- (3) 営利を目的としないこと。
- (4) 政治的又は宗教的目的を持ってないこと。

(利用申請)

第3条 松橋収蔵庫の利用を希望する団体は、団体利用申請書（様式第1号）を利用する日の2週間前までに文化企画課長に提出しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、松橋収蔵庫の展示見学のみを希望する場合はこの限りではない。

(利用承認の通知)

第4条 文化企画課長は、前条第1項の規定による利用の申請の内容が適当と認められるときは、利用決定通知書（様式第2号）により申請者に通知するものとする。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(様式第1号)

熊 本 県 松 橋 収 蔵 庫 団 体 利 用 申 請 書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

(団体の所在地)

(団体の名称)

(代表者氏名)

印

下記のとおり熊本県松橋収蔵庫を団体で利用したいので申請します。

記

1 利用日時 平成 年 月 日 : ~ :

2 利用目的

・ 展示説明 ・ 資料を使った授業 ・ 体験学習

・ その他 ()

3 内 容

4 利用を希望する施設 (該当するものを丸で囲んで下さい)

1 階ロビー ミーティングルーム 体験学習室

その他 ()

5 担当者の氏名及び連絡先

(氏 名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 打ち合わせの希望日時 (資料を使った授業、体験学習等文化企画課職員の 指導が必要な場合は必ず記入ください。)

6 その他 (要望事項等)

(様式第 2 号)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

熊本県松橋収蔵庫団体利用決定通知書

平成 年 月 日付けで申請がありました熊本県松橋収蔵庫の団体利用については下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 利用日時 月 日 時 分～ 時 分

2 利用場所

3 内 容

4 その他

(5) 学校・社会教育関係団体等への講師派遣要項

(趣旨)

第1条 この要項は、熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長（以下「文化企画課長」という。）が、熊本の自然や文化に関する専門的な知識能力、文化企画課松橋収蔵庫が収蔵する資料等を活用することを目的とする学校、社会教育関係団体等（以下「学校等」という。）からの依頼により、職員を講師として派遣する場合の手續に関し、必要な事項を定めるものとする。

(派遣の要件)

第2条 文化企画課長は、学校等から講師派遣の依頼がある場合において、当該依頼が次の各号の全てに該当するときは、職員を講師として派遣することができる。

- (1) 資料の収集・整理・保管、調査研究、展示又は学習支援など収蔵庫が行う博物館活動に関係するものであること。
- (2) 営利を目的としないこと。
- (3) 収蔵庫の日常業務に支障がないこと。
- (4) 学校等の所在地又は活動の拠点が本県内にあること。
- (5) 同一の学校等への派遣が同一年度において2回を超えないこと。
- (6) 派遣に要する職員旅費、教材費等の費用を全て学校等が負担すること。
- (7) 政治的又は宗教的目的をもってないこと。

2 前項の規定にかかわらず、文化企画課長が特に必要と認める場合は、学校等からの依頼の内容に応じて職員を講師として派遣することができる。

(派遣の申請)

第3条 学校等において、講師の派遣を希望する者（以下「申請者」という。）は、派遣を希望する日の2週間前までに講師派遣申請書（様式第1号）を文化企画課長に提出しなければならない。

(派遣の承認)

第4条 文化企画課長は、前条の規定による派遣の申請の内容が適当と認められる場合は、講師派遣決定通知書（様式第2号）により申請者に通知を行うものとする。

附 則

この要項は、平成21年6月12日から施行する。

(様式第1号)

講師派遣申請書

平成 年 月 日

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長様

名称

所在地

代表者氏名

印

下記のとおり貴所属職員を講師として派遣してくださるよう申請します。
なお、講師の旅費については当方で負担します。

1 派遣日時 月 日 時 分～ 時 分

2 派遣場所

3 対象人数学年等

人 (年生・一般)

4 内容

5 派遣を希望する職員名 (特定されてない場合は記入不要です。)

6 担当者の氏名及び連絡先

(氏名)

(電話番号)

(E-mailアドレス)

5 打ち合わせ希望日時

(様式第 2 号)

文企第 号
平成 年 月 日

様

熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課長

講 師 派 遣 決 定 通 知 書

平成 年 月 日付けで申請がありました講師派遣については、下記のとおり決定しましたので通知します。

記

1 派遣日時 月 日 時 分～ 時 分

2 派遣場所

3 内 容

4 派遣職員職氏名

5 その他

[熊本県松橋収蔵庫のご案内]



所在地 宇城市松橋町豊福 1 6 9 5
電 話 (0 9 6 4) 3 4 - 3 3 0 1
F a x (0 9 6 4) 3 4 - 3 3 0 2

平成 2 4 年度熊本県松橋収蔵庫活動報告書

編集・発行 熊本県企画振興部地域・文化振興局文化企画課
熊本市中央区水前寺 6 - 1 8 - 1
(0 6 9) 3 3 3 - 2 1 5 5
発行日 平成 2 5 年 5 月 1 3 日
